# 交通不便地域(彼方上地区)における地域公共交通の実証運行について

1.彼方上地区でのこれまでの経過について

令和6年度 第1回 富田林市交通会議 資料1

- 2.第1回実証運行について
- 3.第2回実証運行の概要(案)について
- 4.利用促進のためのPR・啓発活動、勉強会の開催について
- 5.第2回実証運行のフロー図(案)について
- 6.他市での取り組み事例

# 1.彼方上地区でのこれまでの経過について

## 彼方上地区とは?

● 主催:彼方上7町会まちづくり協議会

● 活動地域:彼方上7町会(大字嬉、横山、伏見堂)

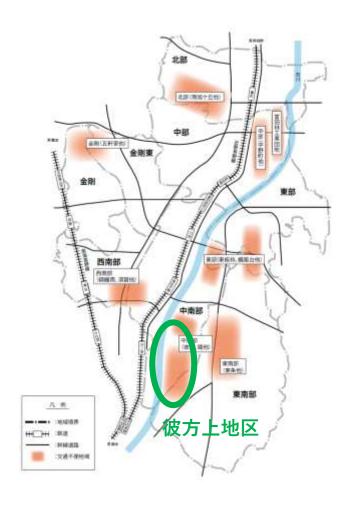
● 人口:1,357人(令和6年3月時点。以下同じ。)

● 世帯数:699世帯 高齢化率:42.6%

● 地域の特徴:高齢化により、移動困難者が急増している。

坂道や狭い道が多く、徒歩移動が困難な方が

急増している。



### 1.彼方上地区でのこれまでの経過について

• 平成30年4月 公共交通の検討を開始

平成30年6月~8月 第1回ワークショップ

• 平成30年12月 第2回ワークショップ

• 平成31年4月 住民アンケートの実施

令和2年1月 第3回ワークショップ

令和2年度 関係事業者と協議

コロナ禍により検討を休止

令和3年度10月~ 休止していた公共交通の検討を再開

・地域による運行計画(案)の検討

・河内長野市・警察・運輸局等、関係機関と事前協議

交通会議による実証運行の承認

彼方上地区地域公共交通「上セブン号」実証運行(12月28日まで)

• 令和5年3月 実証運行後の住民アンケートの実施

令和5年8月24日 勉強会の開催

令和3年12月~

令和4年7月

令和4年5月

令和4年11月1日~

• 令和6年3月9日 地域での会合において第2回実証運行の計画案のとりまとめ

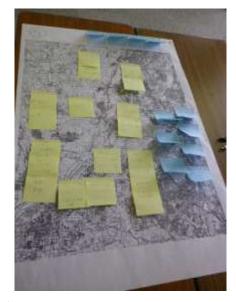
令和6年5月11日 地域での会合において計画案をもとに利用促進策について協議







第1回実証運行時の写真

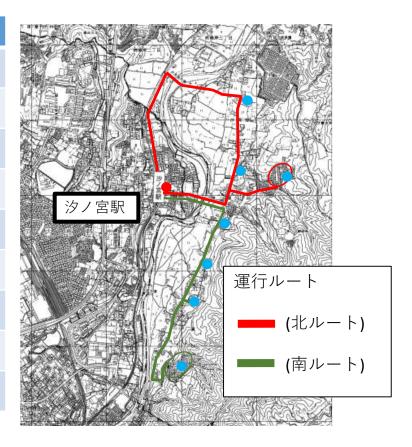


勉強会開催の様子

# 2.第1回実証運行について

# ◇第1回実証運行概要

項目	内容
名称 (愛称)	上セブン号(よみ:かみせぶんごう)
運行事業者	大阪第一交通株式会社
運行ルート	右図のルートを基本として運行
運行方式	定時定路線型
運行期間	令和4年11月1日~令和4年12月28日
運行日時	毎日 AM9:00~PM6:00
料金	大人300円(小児は半額)
支払方法	現金
定員を超えた場合	別途、車両を追加して運行



第1回実証運行ルート全体

## 2.第1回実証運行について

# ◇第1回実証運行結果

# 上セブン号 乗車人数(11月・12月分)

	南ルート	北ルート左回り	北ルート右回り	合計
合計人数	180	95	56	331
1運行あたり人数	0.44	0.23	0.14	0.27

※ここでの1運行とは、出発地から出発地に戻るまでの人数です

(例:【南ルート】汐ノ宮駅前~嬉桜ヶ丘自治会館~汐ノ宮駅前までの乗車人数)

#### 11・12月

	月	火	水	木	金	土	日	祝日	全日
午前便(1運行あたり)	0.33	0.34	0.27	0.17	0.58	0.13	0.13	0.00	0.28
午後便(1運行あたり)	0.21	0.26	0.23	0.19	0.38	0.38	0.23	0.09	0.27
午前・午後(1運行あたり)	0.26	0.29	0.24	0.18	0.45	0.29	0.20	0.06	0.27

※月~金は祝日を除きます

# 上セブン号 収支率(11月・12月分)

	月	火	水	木	金	土	日	祝日	全日
1日あたり	5.24%	5.95%	4.99%	4.04%	9.25%	5.97%	4.02%	2.44%	5.56%

※月~金は祝日を除きます

## 2.第1回実証運行について

◇第1回実証運行後アンケート(抜粋)

○利用されるために必要なこと(自由記述、意見が多かった回答の抜粋)

・目的地(河内長野駅など)の変更・・・・・・・・・・・・・134人

・乗降方法の変更(フリー乗降や、家の近くに停留所を設けるなど)・・・・48人

・運行時間や本数の変更・・・・・・・・・・・・・・・38人

・料金の変更・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34人

・運転免許の自主返納が増える制度の導入・・・・・・・・・・28人

・利用方法の説明や、広報活動・・・・・・・・・・・・・22人

第1回実証運行後に行われたアンケート集計結果による

目的地の変更を望まれる方が多く、次いで乗車方法の変更となっている。

# 3.第2回実証運行の概要(案)について

# ◇第2回実証運行に向けた運行内容(案)について

○目的地について

要望の多かった河内長野駅を運行ルートに含める。

○乗車方法について

関係機関との協議の結果、安全を考慮し、青山台地区と嬉桜ヶ丘地区の運行ルート 上において、停留所以外でも降車を可能とするフリー降車エリアとする。

#### ○運行曜日について

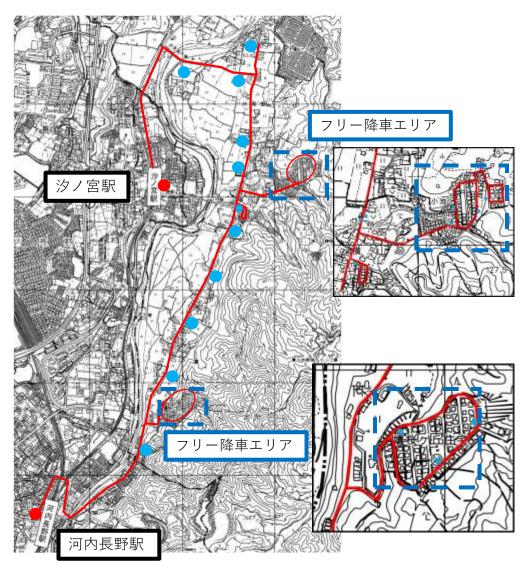
第1回実証運行では、乗車人数を曜日別に比較すると、木曜・祝日・日曜が特に少なくなっているため、第2回実証運行では木曜・日曜・祝日を運休し、週5日の運行を想定。

#### ○運行時間帯について

第1回実証運行では、AM9:00~PM6:00を運行時間帯としていたが、経費削減のため、需要が比較的少ない昼過ぎの時間帯の運行を取りやめ、朝と夕方の時間帯の運行を目指す。

# 3.第2回実証運行の概要(案)について

項目	内容
目的	実証運行により、彼方上地区における公共 交通の実現可能性を検証し、かつ、公共交 通に対する機運を高めながら、本格運行に 向けての判断材料とすることを目的とする。
運送許可	道路運送法第21条第2号による許可
車両	中型タクシー(乗客4人乗り)又は同等以 上の定員を確保できる車両(1台)
運行ルート	右図のルート (案) を想定。 また、一部のエリアで停留所以外での降車 (フリー降車) を可能とする。
運行方式	定時定路線型
運行期間	約2か月を想定
運行日時	運行日を木曜・日曜を除く週5日、運行 時間帯をAM9:00~AM12:00及び PM2:00~PM5:00の運行を想定。
運行頻度	約1時間間隔を想定
料金	大人300円(小児は半額)を想定



第2回実証運行ルート全体(案)

### 3.第2回実証運行の概要(案)について

#### 第2回実証運行の運行計画(案)

運行期間 : 約2か月(利用状況により延長の場合あり)

運行時間 : 9時~12時及び14時~17時を想定

運行曜日 : 木曜・日曜・祝日を除く週5日を想定

運行経費 : 約42,000円(1日あたり(見込)、借地料等他諸経費含む)

運賃: 300円(小児は半額)を想定

運行頻度 : 6往復(1時間あたり1往復)を想定

乗車目標 : 42人以上(1日あたり)、7人以上(1便あたり)

#### 第1回実証運行との比較(概算)

	合計	収支率	備考
第1回実証運行時乗車人数	331人	5.56%	
第2回実証運行の乗車目標	1,890人	30%	42人×45日(2か月,週5日運行の場合)

地域では、第2回実証運行に向けて、さらなる運行内容の検討を行っておられます。

### 4.利用促進のためのPR・啓発活動、勉強会の開催について

また地域では、運行内容の検討と並行して利用促進策の検討も行っておられます。

#### 【取り組みの一例】

- ○地域住民向けの、上セブン号を利用したモデルコースの作成 地域ごとに、上セブン号を利用し、買物や観光等を行うモデルコースを作成
- ○住民同士による利用を促す声かけの実施 住民同士で、上セブン号の利用を促す声かけを実施
- ○勉強会の開催 利用促進に特化した勉強会を開催することにより、地域住民に運行計画案を周知し、 利用者増加の取り組み事例の提案を行う

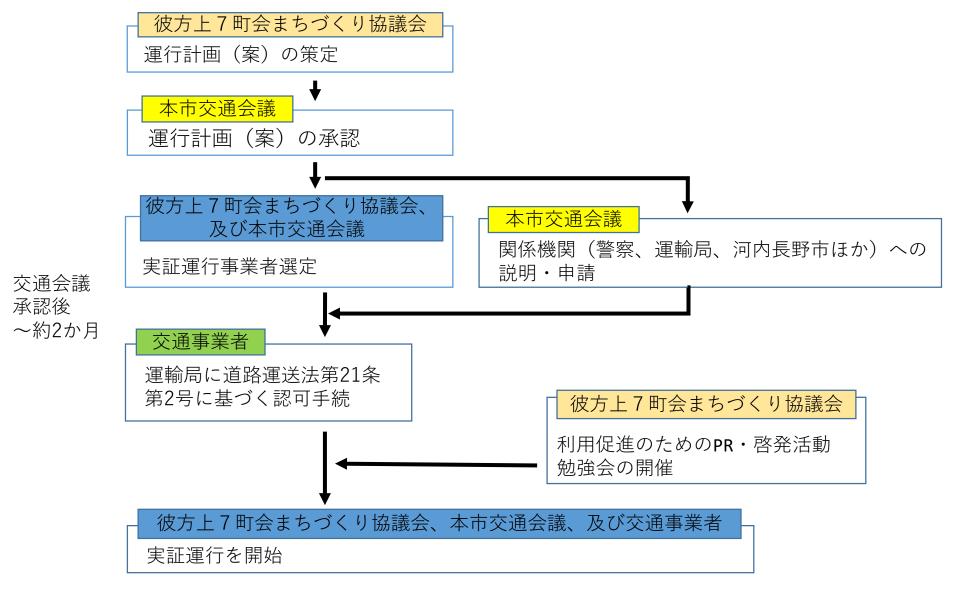




過去の勉強会開催の様子



# 5.第2回実証運行のフロー図(案)について



フロー図については、彼方上7町会まちづくり協議会、本市交通会議、及び交通事業者の協議により変更となる可能性があります。

地域で取り組まれている公共交通の事例 (令和6年5月時点)

- 大阪府河内長野市 楠ケ丘地域乗合タク シー「くすまる」について
  - □ 運行期間:平成23年11月1日~
  - □ 運行日時:日曜日・祝日・1/1・1/2を除く毎日運行

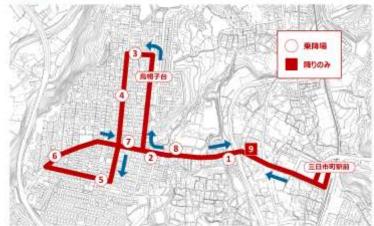
午前8時30分~午後6時40分(三日市町駅前発)

合計18便

- □ 運行エリア:河内長野市楠ケ丘地域
- 運賃:1人1乗車あたり大人300円、小人100円 (令和6年4月1日より)
- □ 運行方法:定時定路線による運行
- □ 運行車両:ジャンボタクシー車両(10人乗り※運転手含む)
- □ 人口: 2,291人(内、65歳以上約36%)(令和4年12月末現在)



路線図(平成25年4月1日より)





出典:大阪府河内長野市ホームページ

• 大阪府河内長野市 楠ケ丘地域乗合タクシーくすまる

1便あたりの乗車人数(平均) 令和元年度 4.2人 令和2年度 3.0人 令和3年度 3.0人 令和4年度 3.3人 令和5年度 3.7人



平成22年の試行運行については、平均4.3人



出典:大阪府河内長野市ホームページ

- ○利用促進のための地域での取り組みについて 地域では、利用促進のための様々な取り組みを続けておられます。
  - ・利用促進策の一例



公共交通機関のウェブサイトや 連絡先が掲載された、持ち運び 可能なカードの作成



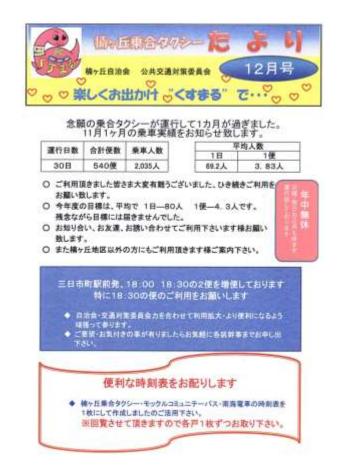
定期的な広報誌の作成

出典:楠ヶ丘自治会交通対策委員会様資料

その他にも、運行を継続するために、地域では定期的に乗車人数の報告と目標の設定を行い、利用促進策を行うなど、様々な取り組みを続けておられます。



乗車料金の割引日の設定



広報誌への定期的な乗車人数の報告と 目標人数の掲載

出典:楠ヶ丘自治会交通対策委員会様資料

地域で取り組まれている公共交通の事例 (令和6年5月時点)

・ 兵庫県西宮市生瀬地区コミュニティ交通 「ぐるっと生瀬」について

□ 本格運行:平成27年10月~

□ 運行日:平日及び土曜日(1月1日から1月3日を除く) 5月3日から5月5日

□ 運行時間:8時台~19時台

□ 運行エリア:兵庫県西宮市生瀬地域

□ 運賃:1人1乗車あたり大人300円、小人200円

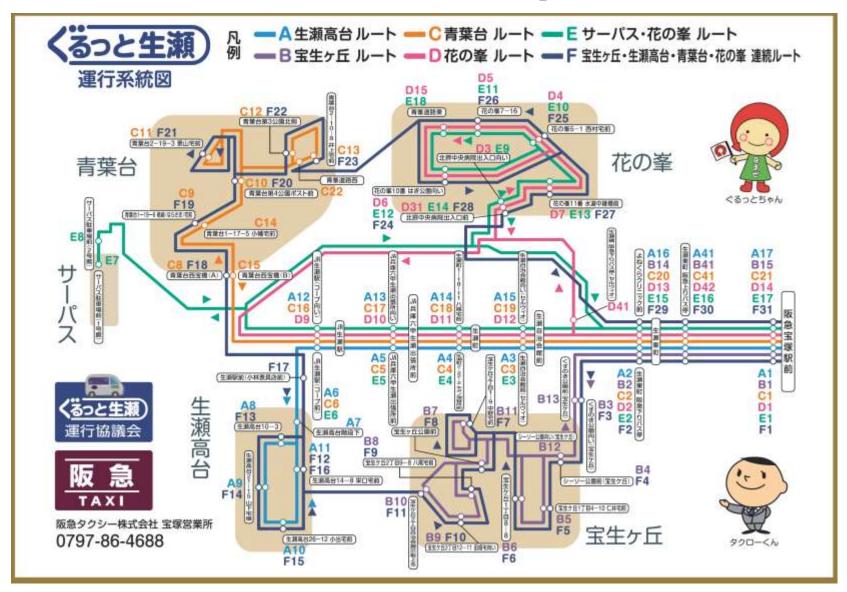
□ 運行方法:定時定路線による運行

□ 運行車両:14人乗り(乗客定員13名)コミューター1台

出典:兵庫県西宮市ホームページ



• 兵庫県西宮市生瀬地区コミュニティ交通「ぐるっと生瀬」について



出典:兵庫県西宮市ホームページ

• 兵庫県西宮市生瀬地区コミュニティ交通「ぐるっと生瀬」について

1便あたりの乗車人数(平均)

平成30年10月~令和元年9月 4.56人 令和元年10月~令和 2年9月 3.66人 令和 2年10月~令和 3年9月 3.60人 令和 3年10月~令和 4年9月 4.30人 令和 4年10月~令和 5年9月 5.47人

平成25年度(平成26年 3月3日~3月31日)の第1回有料試験運行は、平均1.8人/便平成26年度(平成26年10月1日~3月31日)の第2回有料試験運行は、平均3.0人/便

出典:兵庫県西宮市ホームページ(第3回、第16回及び第27回地域公共交通分科会資料)

○利用促進のための地域での 取り組みについて(抜粋)

- ・宝塚駅前での利用促進キャンペーン (月初め)
- ・定期的に会議や説明会を開催し、 状況報告や、さらなる利用促進策を協議
- ・会報を発行し、住民への情報提供を行う
- ・バス車内へ乗客数を掲示するなど、 より多くの利用を促進
- ・近隣で同じような公共交通に取り組まれている地域の方との情報交換など

地域では上記以外にも、多くの取り組 みを積極的に行っておられます

